



CONTENTS

TOPICS

- 2014年度 卒業式・修了式 02
- 2014年度卒業・修了生の進路状況 03
- 卒業・修了生に聞く内定獲得の秘訣 04

TOPICS

- 2015年度 入学式 05
- NEWS FILE 06
- 受賞 07
- 新キャンパスNEWS 08

SCHEDULE 行事予定 (5月~8月)

入試情報

- 5月23・24日 オープンキャンパス
- 6月13日 2016年度工学部高等専門学校編入学試験選考日
(6/24合格発表)
- 8月22・23日 オープンキャンパス

学事

- 7月23日~29日 前期定期試験(修士)
- 7月25日~31日 前期定期試験(学部)
- 7月30日 修士学外実習(~9月23日)
- 8月1日 夏期休業(~9月6日)

2014年度卒業式・修了式

2014年度卒業式・修了式が3月20日に挙行された。新キャンパス建設工事により、会場は体育館となった。工学部卒業生は93名(専修プログラム24名、総合プログラム69名)、大学院工学研究科(修士課程)修了生は45名(台湾国立中興大学からのダブルディグリー留学生1名を含む)、博士(工学)学位取得者は2名、計140名が巣立っていった。

榊裕之学長から、学部代表の岩崎晋平君(静岡県立藤枝東高等学校出身)と田中駿太君(愛知県立名古屋南高等学校出身)、修士代表の酒井由紀子さん(愛知県立横須賀高等学校出身)に、それぞれ学位記が授与された。また、博士学位については田崎政文君(本学修士課程出身)とTONG Tuan Hoang君(ベトナム出身)の学位取得が論文題目と併せて紹介された。

榊学長は、青色LEDの発明と発展による2014年ノーベル物理学賞を例に、「新たな製品や企業を作り出し、社会に貢献するには、強い信念と粘り強い努力が不可欠。さらに世代を超えた協力も重要となる。困難に遭遇してもこのことを



思いおこし、自らを奮い立たせてほしい」と祝辞を贈った。

続いて、学校法人トヨタ学園 瀧本正民理事長(株式会社豊田中央研究所 特別顧問)は「今の時代は社会の課題解決やさらなる発展のために技術者が貢献できるチャンスが無限に広がっている」と激励した。

また、トヨタ自動車株式会社 名誉会長 豊田章一郎氏をはじめとする来賓の方々を代表し、矢崎総業株式会社 代表取締役会長 矢崎裕彦氏が祝辞を述べた。矢崎氏は「社会では縦と横の関係両方が大切。特に横軸のつながりである仲間を大



矢崎総業株式会社
代表取締役会長 矢崎裕彦氏

事にしてほしい」とメッセージを贈った。

卒業生を代表して吉積果奈さん(私立愛知高等学校出身)は、大学生活での経験と成長を振り返り、修了生を代表して永守孝至君(名古屋市立菊里高等学校出身)は、研究に打ち込んだ日々とその教育環境について謝辞を述べた。

最後に、学業成績・人物ともに特に優秀な人物に与えられる「豊田奨学基金賞」が、石光良太君(矢崎総業株式会社)と服部良信君(山口県立豊浦高等学校出身)に授与された。



博士学位を取得したTONG Tuan Hoang君(写真右)と大石泰文教授



2014年度卒業・修了生の進路状況

就職決定率 **100%達成** (開学以来 100%)
第一志望への就職率 **72%**

	学部		修士課程			博士後期課程		
	社会人	一般	社会人	一般	留学生	社会人	一般	留学生
卒業・修了	11(10)	82(58)	1(4)	43(38)	1(2)	0(1)	1(0)	1(4)
内訳	企業復帰	11(10)	1(4)			0(1)		
	就職		40(25)		42(38)		1(0)	1(0)
	進学		41(32)		1(0)			
	その他		1(1)			1(2)		0(4)
計	11(10)	82(58)	1(4)	43(38)	1(2)	0(1)	1(0)	1(4)
	93(68)		45(44)			2(5)		

()は昨年実績人数

一般学生の就職先一覧 (人数順、五十音順、★新規)

企業名	学部(40名)		修士(42名)	
	人数	新規	人数	新規
アイシン精機株式会社	6		三菱電機株式会社	4
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	3		トヨタ自動車株式会社	3
株式会社東海理化	3		株式会社豊田自動織機	3
小島プレス工業株式会社	2		パナソニック株式会社	3
大豊工業株式会社	2		アイシン精機株式会社	2
愛三工業株式会社	1		株式会社アドヴィックス	2
株式会社アドヴィックス	1		矢崎総業株式会社	2
株式会社荏原製作所★	1		アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	1
株式会社オティック★	1		株式会社オークファン★	1
キャノン株式会社	1		キャノンアネルバ株式会社★	1
コクヨ株式会社★	1		サンディスク株式会社	1
シャープ株式会社	1		株式会社シイエム・シイ★	1
セイコーエプソン株式会社	1		株式会社ジーエス・ユアサコーポレーション	1
ソニーイーエムシーエス株式会社	1		株式会社システム★	1
ダイキン工業株式会社	1		株式会社システムアイティー★	1
ダイハツ工業株式会社	1		住友電気工業株式会社	1
株式会社タマディック★	1		ソニーイーエムシーエス株式会社	1
WDB工学株式会社★	1		TDK株式会社	1
株式会社デンソー	1		株式会社デンソー	1
株式会社東郷製作所	1		東レ株式会社	1
豊田合成株式会社	1		豊田合成株式会社	1
トヨタ自動車株式会社	1		トヨタ自動車東日本株式会社	1
日本システム開発株式会社★	1		株式会社ニコン★	1
日野自動車株式会社	1		東山フィルム株式会社★	1
フタバ産業株式会社	1		株式会社ヒップ★	1
マーレエンジンコンポーネンツジャパン株式会社★	1		株式会社フジクラ	1
三菱電機エンジニアリング株式会社	1		富士重工業株式会社★	1
株式会社UKCエレクトロニクス★	1		三菱重工業株式会社	1
株式会社菱友システムズ★	1		株式会社読売新聞東京本社★	1
			株式会社ワコム★	1

参考 累計就職先上位19社 (1995年～)

企業名	人数	企業名	人数
トヨタ自動車株式会社	66	豊田合成株式会社	13
株式会社デンソー	42	フタバ産業株式会社	13
株式会社豊田自動織機	42	ダイハツ工業株式会社	12
アイシン精機株式会社	41	トヨタ車体株式会社	12
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	39	パナソニック株式会社	12
本田技研工業株式会社	35	キャノン株式会社	11
矢崎総業株式会社	29	愛三工業株式会社	10
三菱電機株式会社	23	ソニーイーエムシーエス株式会社	10
株式会社ジェイテクト	20	トヨタテクニカルディベロップメント株式会社	10
トヨタ紡織株式会社	14		

※ 社会人学生を除く一般学生のみの人数

卒業・修了生に聞く 内定獲得の秘訣

2014年度も就職決定率100%を達成し、開学以来100%を維持する豊田工業大学。春から新社会人となった2人に、就職活動を振り返っての成功の秘訣や、後輩へのアドバイスについて聞いた。

自分の経験やできることをアピール



梁矢 萌子さん 学部

プロフィール

出身校：私立鶯谷高等学校(岐阜県)
内定先：株式会社アドヴィックス
研究室：制御システム研究室
研究テーマ：粒子群最適化に基づく軌道追従制御器設計

私は学外実習で1年次はデンソー、3年次は豊田自動車織機で、自動車部品の製造・開発現場を経験し、その面白さや大変さ、そして自動車に関わるものづくりの喜びを、身をもって体験しました。この学外実習での経験が動機となり、自動車に関わる仕事に就きたいと考えていました。当時、研究室でロボットカーを目標軌道に追従させるための制御について研究する予定だったため、そこで学ぶ知識を生かしたいとも考えていました。

アドヴィックスは自動車のブレーキシステムとその部品の開発・生産をしている企業です。ブレーキの技術開発が自動車の基本性能「走る」「曲がる」「止まる」の全てに関わることに魅力を感じ志望しました。面接では、研究内容や大学生活で学んだ経験をもとに、自分のやりたいこと、できることを伝えたと、私の研究している内容を就職後も生かせようと言ってくれました。

就職活動の当初は仕事での男女差は特に意識していませんでしたが、活動を進める中で自動車開発にも女性の視点が重要視されていることをよく耳にしました。「女性が使いやすいものづくり」に限らず、「細やかな配慮」や「気づき」といった女性ならではの能力も製品開発のポイントになると思います。就職活動では、企業が求めていることに対して自分のやりたいことやできることを考え、それらを合わせてアピールすることが重要だと感じました。

悔いの残らない就職活動を



小園 翔さん 修士

プロフィール

出身校：静岡県立菟山高等学校
内定先：株式会社ジーエス・ユアサコーポレーション
研究室：固体力学研究室
研究テーマ：地震に対する制振デバイスの形状最適設計法

私は自動車やオートバイに興味があり、自動車メーカー、部品メーカー問わずに時間の許す限り多くの会社説明会に参加しました。社内を案内してもらい、技術者の方と直接話せる機会は就職活動の時だけだと思います。そこから見えてくる会社の雰囲気と自分の価値観を照らし合わせ、明確に志望順位を付けることが大切だと思います。

緊張しやすい人は面接に慣れることが大事です。最

初、私は緊張して何も喋れなかったのですが、場数を踏むと楽しいと感じる時もありました。面接で一番大事なことは、自分の軸をブレさず、筋の通った話を展開することだと思います。エントリーシートを書く際も同じです。私は「なぜこの仕事がしたいのか」「なぜこの会社を志望するのか」などを整理して、矛盾が無いように面接に臨みました。また、学業以外で頑張ったことを聞かれることも多いので、胸を張って言えるエピソードがあると良いと思います。工作実習工場での経験やトヨタ生産方式の授業などで得た、豊工生ならではの体験談もアピールしました。

最終的に、海外勤務への強い関心があった私は、二輪用バッテリー世界シェア1位のGSユアサに決めました。自分自身も同社製品のユーザで、身近だったことも決め手でした。相手を納得させる理由と熱い気持ちがあれば、自身の研究分野と会社が扱う製品が多少異なっても問題はないと思っています。皆さんも悔いの残らないように自分の想いをぶつけてください。

2015年度 入学式

2015年度入学式を4月1日に挙行し、学部104名、大学院修士課程40名、同博士後期課程1名の計145名が入学した。

榊裕之学長は「技術者の使命は、より良い暮らしや社会を実現するために、ものやサービスを創り出すことにある。豊田佐吉翁や喜一郎氏の生き方を参考に、自ら困難に立ち向かい、創意工夫によって克服する高い志を受け継いでほしい」と、期待の言葉を贈った。

続いて、学校法人トヨタ学園 渡部教行常務理事は「学んだものをしっ



学校法人トヨタ学園 渡部教行常務理事

かり身につけるためには「実践」が重要。また、柔軟性も大切にして、色々なことに挑戦してほしい」と激励した。

また、豊田工業大学シカゴ校(TTI-C)の古井貞照学長は「知識を使いこなし、創造性を発揮することが大事。問題を発見し解決する力と創造力を身につけてほしい」と挨拶した。

新入生を代表して、学部の前田孝泰君(愛知教育大学附属高等学校出身)、大学院の田中駿太君(愛知県立名古屋南高等学校出身)がそれぞれ誓いの言葉を述べ、これから始まる大学生活において、勉学や研究に励もうとする熱い意気込みを見せた。



2015年度入試結果

	入試区分	入学定員	募集人員	志願者	合格者	入学者	
工学部	一般入試	80	50	779	354	98	
	専門高校特別推薦入試(公募制)		若干	0	0		
	「サイエンス・ラボ体験コース」修了者対象推薦入試		若干	0	0		
	外国政府派遣留学生特別選抜入試		若干	0	0		
	社会人入試(含編入学試験) (内編入学試験)		30 (若干)	6 (1)	6 (1)		1
	高等専門学校卒業予定者を対象とする3年次編入学試験		若干	7	7		5
大学院修士課程	一般入試	36		51	40	40	
	学部3年次対象特別選抜入試(飛び級)		36	0	0		
	社会人入試			1	1		
	ダブルディグリー留学生入学資格審査		若干	0	0		
大学院博士後期課程	夏季入試(2014年7月実施)	12	12	0	0	1	
	冬季入試(2014年11月実施)			3	1		
	外国人(海外在住)(2014年度内実施)			1	0		

FILE-01

スマートエネルギー技術研究センター
シンポジウム(1/22)

「スマートエネルギー技術研究センター」(センター長:山口真史特任教授)の第5回目となるシンポジウムが1月22日に開催され、参加者は計117名となった。今回は、独立行政法人科学技術振興機構との共催で、同機構のCREST研究領域「太陽光を利用した独創的グリーンエネルギー生成技術の創出」(研究総括:山口真史特任教授)の成果報告会に先立っての開催。高本達也氏(シャープ株式会社 化合物太陽電池開発室 室長)、橋口大樹氏(パナソニックグループ エコソリューション

ズ社)、今泉充氏(独立行政法人宇宙航空研究開発機構 主幹開発員)の本学OB3名と本学元PD研究員の齋均氏(独立行政法人産業技術総合研究所 主任研究員)がそれぞれ世界最高効率太陽電池の研究開発への貢献事例について紹介した。



FILE-02

先端フロンテクノロジー研究センター
シンポジウム(2/27)

「先端フロンテクノロジー研究センター」(センター長:大石泰丈教授)の第15回目となるシンポジウムが2月27日に開催され、参加者は計87名となった。同センターは、超低消費電力ネットワーク技術構築に必要な光デバイスの実現を目指して研究活動を行っている。シンポジウムでは、プロジェクトの紹介とこれまでの研究成果が発表された。また、香取秀俊氏(東京大学大学院工学系研究科物理工学

専攻 教授)および広崎尚登氏(独立行政法人物質・材料研究機構 サイアロユニット ユニット長)による招待講演が行われた。



FILE-03

ブルゴーニュ大学との
国際交流協定締結(3/23)

3月23日にブルゴーニュ大学(フランス)と大学間協定を締結した。この協定は共同研究や学生の交流を目的としている。(2015年4月現在の連携校は海外22大学、国内2大学)

FILE-04

神学長が国際教養大学
鈴木典比古学長と対談(3/25)

神 裕之学長と秋田県にある国際教養大学の鈴木典比古学長による対談が3月25日に行われた。両学は、寮生活や学外での学びを必須化しているなど、教育方針において共通する点も多い。また、徹底した教育に基づき、就職等において企業からも高い評価を受けている両学の学長がこれからの大学教育に求められるものについて語りあった。本対談の内容は、5月18日発売の週刊東洋経済 臨時増刊号「本当に強い大学」の中で紹介される予定。



FILE-05

2015年度 オープンキャンパス日程決定

2015年度のオープンキャンパスを下記の日程で実施する。大学概要・入試結果の説明のほか、施設見学や体験授業、在学生との交流などを用意している。

日程	予約	主なイベント
5月23日(土)、5月24日(日)	要	グリーンルーム見学(両日午前・午後開催、各回先着20名)
8月22日(土)、8月23日(日)	要	在学生によるキャンパス案内および相談会、体験授業
9月12日(土)、9月13日(日)	不要	大学祭見学

●予約方法等はホームページに掲載 ▶ <http://www.toyota-ti.ac.jp/juken/open/index.html>



【受賞】

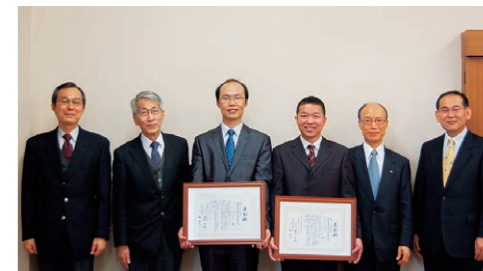
学内

豊田奨学基金 研究賞

研究奨励賞

将来の研究進展が大いに期待される萌芽的研究を行った教員及びポストドクトラル(PD)研究員に対し、その業績の顕彰、研究推進の奨励を目的として授与する。

受賞者	研究テーマ
Tonglei Cheng PD研究員 (光機能物質研究室)	高非線形微細構造光ファイバおよび コヒーレント光発生の研究
Qian Long PD研究員 (スマートビークル研究センター)	高精度ステレオビジョンシステムの開発



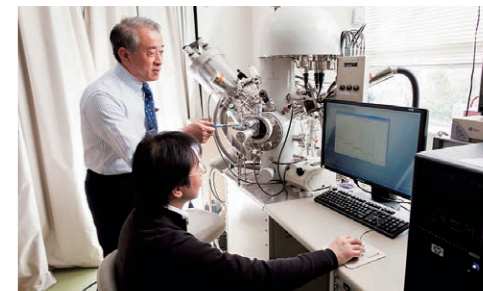
中央左がTonglei Cheng PD研究員、同右がQian Long PD研究員

学外

平成27年度文部科学大臣表彰科学技術賞(研究部門)

科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的としている。

受賞者	研究テーマ
山口 真史 特任教授	超高効率太陽電池とその応用に関する先駆的研究



学生への表彰

各学会から、人格・学業ともに優秀であると認められた者に授与される。

※学年は受賞時点

受賞名	受賞者	研究室
日本機械学会島山賞(学部)	吉積 果奈(私立愛知高等学校出身)	固体力学研究室(学部4年)
日本機械学会三浦賞(修士)	服部 良信(山口県立豊浦高等学校出身)	機械システム分野 熱エネルギーシステム研究室(修士2年)
計測自動制御学会中部支部賞	岩崎 晋平(静岡県立藤枝東高等学校出身)	制御システム研究室(学部4年)
電気学会東海支部長賞	下屋 直人(愛知県立豊田南高等学校出身)	電磁システム研究室(学部4年)
精密工学会東海支部学生優秀賞	吉積 果奈(私立愛知高等学校出身)	固体力学研究室(学部4年)

人事紹介

昇格



物性理論研究室

【一般教育分野/工学基礎(数学)担当】

高野 健一 教授(60歳)

1983年 北海道大学大学院工学研究科
博士後期課程修了(工学博士)
1985~1987年 ニューヨーク州立大学
バッファロー校
Research Associate
1987~1991年 名古屋大学理学部助手
1991~2015年 本学准(助)教授
2015年3月1日 本学教授に昇任

主な研究分野

物理学の中の物性理論で、様々な物質の性質を理論的に解明することを目指しています。中でも、物質中で電子が強く相互作用する場合や量子効果が顕著な場合に注目しており、磁性体における無秩序相、物質の融解現象の統一的な定式化、絶縁体近傍での超伝導、半導体の量子構造中の電子の状態などを研究しています。

定年退職



竹内 秀夫 教授

定年退職教員による
最終講義を開催

2015年3月31日付で定年退職となる竹内秀夫教授、高野孝義准教授の最終講義が1月30日に開講され、教職員、学生をはじめ卒業生、教職員OBなど計81名が参加した。講義では、それぞれ自身の研究成果を分かりやすく解説し、終了後は盛大な拍手が送られた。

なお、両教員は4月1日付で特任教員に就任した。



高野 孝義 准教授



新キャンパス
NEWS

新食堂オープニング
セレモニー (3/24)



3月24日に厚生棟2階(旧 講堂部分)の食堂オープニングセレモニーが行われた。

セレモニーでは、榊裕之学長が「食堂は対話を楽しみながら新しいアイデアを生み、人間の成長ができる重要な場所。これまでの食堂も和気



左から柏原正則新キャンパス建設プロジェクト推進室長、公誠総合サービス株式会社 副社長 滋野泰和氏、榊裕之学長、渡部教行常務理事、学生代表 渡邊将成君

あいあいとした雰囲気であったが、これを機に学生、教職員同士、学生と教職員が対話し、さらに素晴らしい教育効果が生まれることを期待したい。研究面においても、この食堂での対話により生み出されるアイデアが、本学を代表する研究成果につながることを楽しみにしている」と挨拶した。

関係者によるテープカットの後、教



職員、学生が真新しいスペースでの食事を楽しんだ。

新食堂は、総合情報センターの建物の2階部分(講堂部分)を改修してできた福利厚生棟に立地する。キャンパスリニューアル計画の中でも多くの学生が利用するスペースであることから、早期完成を目指し優先的に工事がすすめられた。

メインホール、ラウンジ、カフェエリアの概要

メインホール

- ◎高い天井を生かした開放的な空間
- ◎ナチュラルな雰囲気を利用しやすさを演出



138席[カウンタ席18席/楕円テーブル席12席/他テーブル席108席]

ラウンジ

- ◎シンボルツリー(天樹)を眺められる印象的な空間
- ◎ポップな色遣いで学生が気軽に集える雰囲気を演出



56席[カウンタ席16席/テーブル席28席/6人掛ソファ2セット]

カフェ

- ◎打ち合わせなどの利用にも適した落ち着いた空間
- ◎今後焼き立てパンやコーヒーを提供予定(5月頃より)



30席[すべてテーブル席]

特長

- スペースは3区分され、人数・形態に合わせて利用可能
- 座席数 224席(従来は180席)
- 営業時間 11:30~14:00(L.O.13:30)
ラウンジ・カフェエリアの開放時間は平日16:00、土曜14:00まで

